

住民の心と心をむすぶ

# 東品宇

令和元年 9月発行

# だより



祝 敬老会

主催  
東品宇女



## 敬老会

465人の参加者で盛り上がる

◎ 6月9日(日)

令和になり初めての敬老会を6月9日(日曜日)に開催致しました。毎年一番気になるお天気にも恵まれ、元気な笑顔のご長寿の方が、252名、(内)米寿出席8名、前日準備と、合わせてのべ、465人の方々を足運んでいただきました。

アトラクションは、倉岡さんの詩吟「余生」、藤間流のかわいらしい子供さんと、富桂さんの舞踊、ダンスポートキッズ42名のダンス、進徳高校雅楽部と指導の先生方による雅楽でした。また、千田翁、生誕120年を記念してみんなで歌いましょうは、「港」を選んでみました。

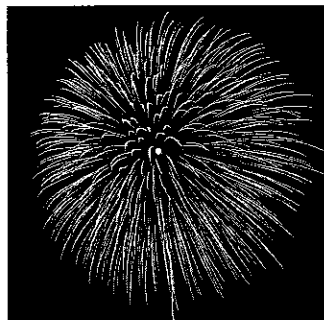
特に雅楽は、長年の念願が叶い来ていただくことができ、皆さん大変喜ばれ濃い内容でした。

東学区の皆さん、宇品中ボランティアの生徒さん、「おかげさま」での敬老会でした。ありがとうございました。

(女性会 長瀬南美子)



# 夢とみなと島 花火大会 一万発打ち上げ



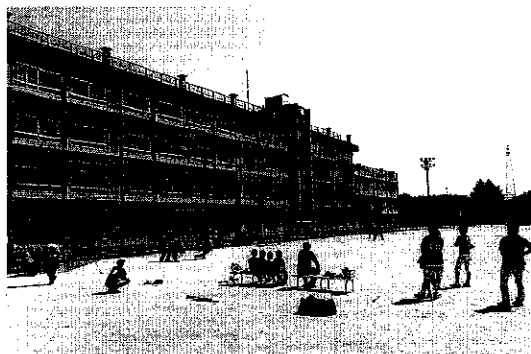
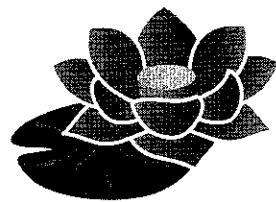
広島祭り委員会などが主催して7月27日(土)20~21時、広島1万トンパスで「広島みなと夢花火大会」が開催され、44万人(主催者発表)が夏の夜空を彩る約1万発の花火に歓声をあげていました。昨年は台風被害が予想され、当日昼前に中止になった事もあって、多くの人が今年の花火に期待を寄せていましたが、期待通り嗜好が凝らされたすばらしいものでした。

今年も防犯街頭啓発パトロール隊(南区地域起こし課、青少協、保護司会、更正保護女性会、PTA中学校ふれあい推進協、少年補導協など10団体)約300人が、午後6時から広島港湾合同庁舎でパトロールの巡回出発式を行い、観客に安全や防犯の声をかけました。また、花火大会実行委員会として会場内の安全巡視やうちわ・パンフレットの配布、ごみ散乱防止、青少年の見守り巡視活動などに宇品東社協、体協、女性会、青少協、東小PTA、子ども会育成協などの各団体が協力しました。

# お浄土へ 追弔会

7月28日(日曜日)今年度お浄土へ還られた方々の追弔会を、善徳寺で行いました。家族葬が多くなり、町内会長も亡くなられた事を知らされない昨今ですが、今年は14名の物故者の方のご家族7名と、理事・近隣の門徒さん、30名でお念仏に合わせいただきました。

(女性会 長瀬南美子)



# スポーツ 春の 球技大会

# 熱戦を 繰りひろげる

春の球技大会を4月21日(日)8時30分から、宇品東小学校グラウンドと体育館で開催致しました。男子はソフトボール、女子はソフトバレーで、それぞれ熱戦を繰りひろげ、その中でもお互いの親睦を図りながら、思い出に残る1日を過ごしました。

参加チームは男子6町内会、女子8町内会9チームでした。各町内の成績は

男子ソフトボール

優勝 神田2丁目町内会

準優勝 神田1丁目町内会

3位 神田5丁目町内会、神田4丁目町内会

女子バレーボール

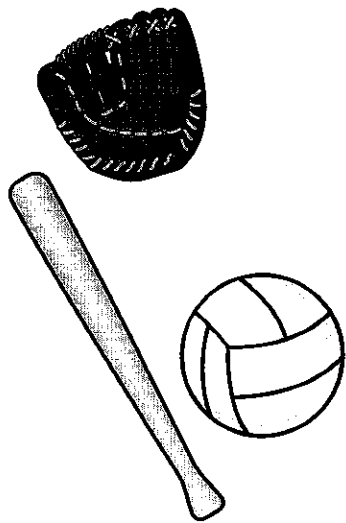
優勝 東3・4丁目・海岸3丁目町内会

準優勝 神田2丁目町内会

3位 神田4丁目町内会

敢闘賞 東1丁目町内会

宇品東体育協会(日浦章裕)



# 宇品東地区

## 連合町内会

### 諸団体と緊密な連携

連合町内会では、宇品東地区の諸団体の活動状況を交換し、共有することによる団体間の緊密な連携を図り、まちづくり活動の向上を目指して開催しています。年2回(9月と2月)今回26回目を実施しましたのでご報告します。

参加団体は、区役所地域起こし推進課・公民館・地域包括センター・南警察署生活安全課・御幸・海岸交番・南消防署・宇品出張所・宇品中・宇品東小・宇品東保育園・宇品東小PTA・民生委員児童委員協議会・女性会・青少年協・保護司会・老人クラブ・子ども会・母子寡婦会・社会福祉協議会(4部会)・連合町内会

(17町内会)計40団体で構成されています。

1回目は、懇談テーマを設定し、外部講師を招き基調講演ののち、参加団体長間で懇談しました。テーマは「災害時要支援者避難と対応」についてでした。

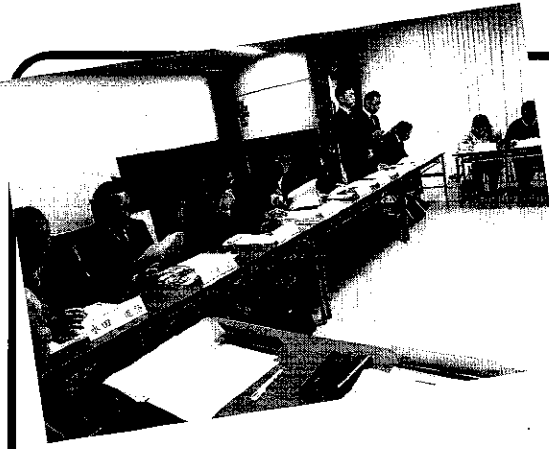
2回目は、各団体長の報告を主に行いました。御幸・海岸交番の発表では、南署管内での犯罪状況報告後、宇品東学区内にある2交番の広報紙が、御幸と海岸交番で、2種類発行されていた、調整後両交番の情報を表裏1枚に記載するとし、宇品東地区内の交番情報が素早く把握できるように次号より改良されることになった。交番の管轄は分れているが、両交番が連携していままでと変わらぬよう業務は遂行されます。

続いて、連合町内会の防犯交通部 祝部長から、防犯パトロールの実績と目的を報告。特に宇品東地区では、単なる防犯パトロールだけでなく、防災、環境パトロールも兼ねて行い、その結果を、関連町内会にフィードバックしています。

防犯部 西本部長から、宇品東の、生活避難場所の運営マニュアルのメンテナンスを行ったと報告がありました。

環境衛生部 柳田部長から、宇品東域内および他地域の清掃活動状況の報告、健康教室の開催案内があった。

(連合町内会 佐藤勝美)



## 宇品東 共に生き共に支えるまちづくり ボランティアバンク部

### 「ご近所ネット」の勉強会を行う

前年度より、宇品東地区で開始しました「宇品東ご近所ネット」の勉強会及び報告会を、7月2日に各町内会長、福祉部員、ボランティアバンク登録者、ご近所ネットの協力員の皆様を対象に開催しました。宇品・似島地域包括支援センターの地道な協力を頂き、現在8町内で56名の申込み、33名の見守り開始、71名の協力員の登録があります。

現在は、見守りの協力員で活動して頂いている方へ、2回目のチェックシートを配布する作業を行っています。

訪問時には包括センターの専門職の方に、色々な相談があります。その中で今回の勉強会は「もしも、あなたが認知症に気付いたら」という内容で「光清苑 寺原直美様」に、ご自分の体験の中から、認知症の早期発見のポイントや、関わり方をユーモアたっぷりでお話し頂きました。地域ぐるみで支え合える、優しい町づくりを目指したいですね。「宇品東ご近所ネット」は随時受け付けています。

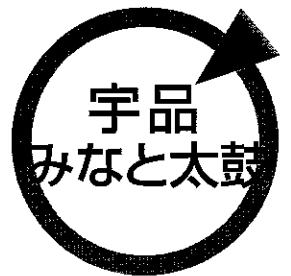
今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。  
(福祉推進員 水坂美智子)



## 第34回「盆踊り大会」

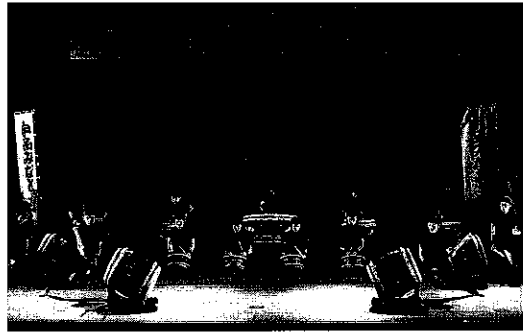
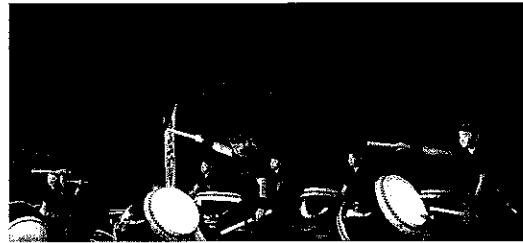
### ヤグラを囲んで楽しんだ

八月四日(日)盆踊りの大会を宇品東小グラウンドで開催。善徳寺住職による盆供養の読経・施粥・米煮のかけをほめて多くのみなさんが熱心に参加して頂きました。大勢の参加で始まった盆踊りは「ゆずり舞の会」の協力も中心に、民生委員・文字でも達達と、縮みやグラを囲んで楽しんだ。最後は恒例の抽選会で大いに盛り上がり、お楽しみ会も、多くのみなさんのお力添えで、青少年健全育成協議会、井上、純司



宇品  
みなと太鼓

今年で20周年  
を迎える



宇品みなと太鼓は、音を合わせる、心を合わせる。を合言葉とし、お客様に喜んで頂き、感動して頂けるように、技を磨き、心を磨き、人の為に、役に立とうとする心を育む事を目的とし、練習に励んでいます。

平成11年7月1日に宇品東学区子ども会育成協議会のクラブとして創設し、今年で20周年を迎

え、地域の皆さんや、沢山の方々に支えて頂き、活動をさせて頂いています。

現在、会員は幼稚園児、小中学生、高校生、大学生の27名です。

これからも、みなさんに喜んで頂き、感動して頂けるように、音を合わせ、心をあわせ、練習に励んでまいります。応援よろしくお願ひします。

今年10月にセンター圏内の研修会を企画



包括支援センターより

高齢者人口の増加に伴い、医療を必要とする高齢者や介護が必要となる高齢者が増加します。皆さんも存じのように、病院で長期の入院は難しくなつてきています。

在宅で医療が必要な方の介護を続けていく中で、それを支える医療関係者と介護関係者の連携はとても重要なものになります。

今年度も10月に、当センター圏内の研修会を企画しています。在宅で療養される高齢者を支えるため、地域の専門職の方々は画・運営しています。医療関係者と介護関係者が気軽に連携が図れるよう、また、軽に連携が図れるよう、まずは顔なじみの関係を作ることを目標にしています。

例年、様々なテーマを基に事例検討会を行い、活発な意見交換がされています。昨年は医師10名、歯科医師6名、その他医療介護職38名の方が参加してくれました。

地域に笑顔を増やしたい

広島和光園デイサービスでは地域の高齢者様が「自分らしい生活」を送ることが出来るようサポートさせて頂きます。

楽しんで過ごしていただけるように、月替わりの行事を行い、ボランティアの方々にもご助力頂きながら地域の笑顔を一つでも増やしていけるよう努めてまいります。

これからもどうぞよろしくお願ひします。

社会福祉法人広島和光園 理事長 畑間庸子

和光園  
だより

宇品東社会福祉協議会

会長	長瀬 充良
副会長	日浦 章裕 川崎 暁 沖本 孝信
監事	東 訓史 徳島 輝一

宇品東連合町内会

会長	佐藤 勝美
副会長	柳田 利之 祝 章則 西本 守
部長	豊島 俊彦
監事	渡 浩司 丹野 尚

編集後記

昨年の西日本豪雨災害では多くの方たちが亡くなり、また1年が経つても行方不明の方たちもいるようです。広島市もハザードマップ等を作り、防災に向けての対応対策を思案していますが突然の豪雨は警報等が出て避難することには、大変難しいと思います。区域で生活している住民としては、せめて土砂災害危険区域の土留め工事を早急に施工してほしいものです。

(川崎暁)